松合 9,000人の母校 145年の歴史

１８７６（明治９）年に誕生した松合小学校。これまで約９千人の卒業生を輩出しました。

１９７５（昭和50）年に創立１００周年を迎える頃には、児童数の増加に伴い新校舎やプールが完成。海で行われていた水泳の授業に危険防止のため参加できなかった低学年も、安全に泳ぐことができるように。

当時の児童たちにとって、旧暦の８月１日（八朔）に松合校区にある永尾神社沖合に現れる「不知火」の観望は、保護者公認で夜ふかしができる貴重な機会でした。

平成に入ると部活動が躍進。特にソフトボール部は優勝を重ね、九州大会や全国大会でも松合小の名をとどろかせました。

１９９９（平成11）年９月、12人の尊い命を奪った台風18号による高潮災害では、児童１人も亡くなりました。地域と学校がともに参加する慰霊祭は、今も続いています。

２００８（平成20）年、学童保育の廃止を受け、始まった放課後子ども教室。文部科学大臣表彰も受けたこの取り組みは、地域の支えの象徴。地域の大人が先生となって習字やそろばん、パソコンなどを毎日教えて、まるで寺子屋のようでした。

２０１６（平成28）年４月の熊本地震では６日間の臨時休校。体育館に多くの住民の避難を受け入れました。

明治、大正、昭和、平成、令和と約１５０年にわたって地域の誇りであった松合小。

これからも、たくさんの思い出とともに人々の心の中に残り続けます。

2020（令和2）年撮影　新体育館は2004（平成16）年完成

1990（平成2）年撮影　オレンジ屋根が旧体育館

1960（昭和35）年撮影　敷地いっぱいに校舎が並ぶ

1915（大正4）年撮影　校舎は木造平屋建て

松合小学校 校長あいさつ

松合小学校第33代校長
下川 穣（みのる）　校長

最後の校長としての3年間、温かい地域や保護者のご協力で、素晴らしい子どもたちと共に幸せな日々を過ごすことができ、感謝申し上げます。

松合小との出会いは約30年前、指導するソフトボール部の試合で対戦し、どんなに負けていてもあきらめずに逆転して勝つ、という気迫に圧倒されました。今考えると、これが「まっちゃ魂」というものだったのでしょう。

「松合小の地下には、大きな水脈がある」と聞いたことがあります。この水脈はこの地で約１５０年間、人材を輩出してきた松合小の歴史にも重なります。これからも皆さんの心の中に永遠に流れ続け、思い出として心を潤していきます。

松合小学校校歌

第14代校長　古城安信　作詞
第19代校長　丸目信行　作曲

一．歴史の伝え　今もなお
不知火燃ゆる　海原（うなばら）を
望む高地に　そそり立つ
我が学舎（まなびや）に　はぐくまれ
知識を拓（ひら）く　友と我れ
明るく学ぶ　松合小

二．自然の幸に　恵まれて
若葉に映える　山肌を
仰ぐ高地に　そそり立つ
我が学舎に　はぐくまれ
身体（からだ）を鍛う　友と我れ
楽しく学ぶ　松合小

三．果てなく続く　青空に
いらかの波の　町なみを
見おろす高地に　そそり立つ
我が学舎に　はぐくまれ
心を磨く　友と我れ
希望に燃える　松合小

令和２年度
児童合唱
松合小校歌